



東京都立墨東病院

連携だより

発行 東京都立墨東病院 事務局医事課
〒130-8575 東京都墨田区江東橋4-23-15
TEL: 03-3633-6151(代表)
<http://www.bokutoh-hp.metro.tokyo.jp>

VOL.59

明けましておめでとうございます



昨年は大変 お世話になりました

墨東病院長 梅北 信孝 (写真中央)
副院長 大島 哲 (前列右)
副院長 岩間 徹 (前列左)
事務局長 井村 琢 (後列中央)
看護部長 畑田みゆき (後列右)
医療連携室長 井手 隆文 (後列左)

平成29年の新春を迎え、心よりお慶び申し上げます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。地域医療機関の先生方には、昨年中も、いろいろと、お世話になり、また医療連携に多大なご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

昨年は、思いがけず、熊本、鳥取で大地震が発生し、大きな被害がありました。また一昨年の常総水害に続き、台風縦断により、水害も発生しました。いつ災害が起こってもおかしくないとの思いを新たにしました。1月に、区東部災害医療図上訓練を行います。ご参加、ご協力のほどお願いいたします。

東京都は、少子高齢化の進行、医療技術の進歩、医療法の改正などに対応すべく、都立病院が担うべき医療についての検討部会を立ち上げています。地域医療構想の中で、地域の医療機関との協調を図り、果たすべき行政医療とは何かなどの、議論を進めています。入院医療機能の分化・

強化と連携を進め、地域包括ケア体制を整備するため、病床機能報告制度などにも対応する必要があります。都立病院の方向性について、ご意見を賜ればありがたく存じます。

昨年、当院はHCU、ICUの増床を行いました。また高度救命救急センターの指定、東京都がん診療連携拠点病院の認定なども果たすことができました。現在もハイブリッド手術室の整備、MFICUの整備などの工事を進めており、今年度末には完成予定です。今後も内視鏡センターの整備など高度医療機能の強化に努めて参ります。

医療の機能分担と連携により、地域の先生方と双方の連携をさらに進め、地域住民に質の高い、安全安心の医療を提供してまいりたいと存じます。

地域医療のさらなる充実に向けて、本年もご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

東京都立墨東病院 院長 梅北 信孝

乳腺外科

● 乳腺外科医長
● 高濱佑己子

はじめに

我が国の女性の癌のうち乳癌は罹患率1位であり、生涯罹患率は12人に1人と増加の一途をたどっています。乳癌治療は手術、内分泌療法・化学療法・分子標的治療薬といったさまざまな薬物療法、放射線治療を組み合わせでおこなう必要があり、当科では乳癌診療ガイドラインに基づいたうえで個々の病状に応じたテーラーメイド治療を実践しています。

日進月歩の乳癌診療ですが、今回当院ではマンモグラフィ装置の更新に伴いデジタルブレストトモシンセシスの撮影、ステレオガイド下穿刺吸引式針生検が可能となりました。また形成外科の協力により乳房再建術を開始いたしました。

当科の乳癌手術件数は、日頃より多くの症例を多数の施設よりご紹介いただいているおかげで年間120件前後まで増えております。

当科の診療のながれ

1 外来

乳腺外科では乳腺専門医2名、認定医1名を含む常勤医4名で主に診療をおこなっており、乳腺初診外来を水曜(宮本)・木曜(高濱)・金曜(梅北)の午前中に開設し診療の充実を図っています。また、乳癌セカンドオピニオン外来(宮本)を木曜の午後に開設しております。

2 検査

視診・触診などの診察、マンモグラフィ・超音波・CT・MRIなどの画像検査、細胞診・針生検などの病理検査を適宜組み合わせで行います。

・マンモグラフィ：デジタルブレストトモシンセシス(3Dマンモグラフィ)を新規に導入いたしました。デジタルブレストトモシンセシスでは通常のマンモグラフィ検査と同じように乳房を圧迫しますが、1回の圧迫で多方向からの撮影をおこないます。その後データを再構成することで多数の断面像を作ることができ、乳腺の重なりを解消し、より精度の高い情報が得られます。日本人をはじめとし



たアジア人は高濃度の乳腺、いわゆる‘デンスブレスト’の方が多く、乳腺の重なりにより腫瘍の描出が困難な場合があることが従来のマンモグラフィの弱点でした。トモシンセシスによりこのような病変を描出することが可能となりました。

- ・細胞診・針生検：症例により細胞診(FNA)・コアニードル針生検(CNB)・穿刺吸引式針生検(VAB)を適宜選択しおこなっています。針生検はエコーガイド下を原則としより確実な病理学的診断を得るために積極的に穿刺吸引式針生検をおこなっておりますが、ステレオガイド下穿刺吸引式針生検を新規に導入したことによりエコーで描出不能な微小な石灰化病変の生検も可能となりました。
- ・乳癌の再発に関連する遺伝子発現検査(Curebest™ 95GC Breast)：従来の病理組織検査に加え、手術で切除した乳がん組織に含まれる遺伝子検査により癌の再発のしやすさを調べることができるようになりました。これにより、必要のない抗癌剤治療を省ける可能性があります。現時点において厚生労働省の保険診療は適応されませんので、検査費用は全額患者さんの個人負担となります。本検査の対象は①女性②浸潤性乳癌③エストロゲン受容体陽性④リンパ節転移陰性⑤術前薬物治療を受けていない、以上すべてを満たす症例です。詳細については担当医にお問い合わせください。

3 手術

良性乳腺疾患は、2016年に新設した日帰り手術センターを通じ、日帰りあるいは1泊2日入院で手術をおこなっております。従来と比べ、患者さんの時間的な負担、治療費の負担を軽減することができるようになりました。

乳癌はクリニカルパスを導入し、5泊6日の入院で治療をしています。また、入院前に入院サポートセンターで事前の準備や入院・手術・退院までの流れをご説明し、患者さんの不安を解消するよう努めております。

当科では癌の根治性のみならず整容性を高めるためoncoplastic surgeryの手技を積極的におこなっています。また、2016年より形成外科と合同で乳房再建術を導入し、さらに幅広い患者ニーズに応えることが可能となりました。乳房再建用エキスパンダー/インプラント実施施設認定もうけております。

当科にご紹介いただく方法

乳腺初診外来は水曜・木曜・金曜の午前中におこなっております。急ぎの検査・治療が必要な際には担当者もしくは外科外来にご連絡いただければ迅速に対応させていただきます。乳癌検診での要精査症例も積極的にお引き受けいたします。

紹介予約のご案内

当院の受診は救急の場合を除き、紹介予約制を原則としています。

緊急の場合

緊急の場合は必ずご一報下さい。

● 電話予約センター TEL:03(3633)5511(直通) 受付時間 午前8:30～午後5:00

● 月～土 午前9時～午後5時

TEL:03(3633)6151(代) 当該診療科の救急当番医師

● 診療放射線科検査予約 MRI・CT検査 TEL:03(3633)6191(FAXと兼用)
RI検査・放射線治療 TEL:03(3633)6192(FAXと兼用)
受付時間 午前9:00～午後5:00

● 夜間、休日

TEL:03(3633)6151(代) ER担当

● 問い合わせ先 医事課「医療連携担当」 TEL:03(3633)6151(代表)内線2115
FAX:03(3633)7130

● 三次救急

TEL:03(3633)6151(代表) 救命救急センター

● 診療放射線科検査予約の用紙はホームページからダウンロードできます。

墨東病院ホームページ→医療関係者の皆様へ→医療連携のご案内→検査予約のご案内